

ライフサイクルに応じた一貫性のある教育相談支援

—— 家庭養育から学校教育に至る教育相談活動を中心に ——

研究の趣旨及び経過の概要

1. 研究課題設定の背景

当教育相談センターでは、平成12年度に全国の特殊教育センターを対象に、相談体制や諸機関との連携についての調査を行った。この結果からは、早期教育相談を行っている機関が少なかったこと、LDやADHDに関する相談が多くなっていること等が分かり、相談者のニーズに応じた適切な機関を紹介できるシステムなど関係諸機関とのネットワークの構築等が課題としてあげられた。

「21世紀の特殊教育の在り方について」の最終報告では「乳幼児から学校卒業後まで一貫した相談支援体制の整備について」では、「教育、福祉、医療、労働等が一体となって乳幼児期から学校卒業後まで障害のある子ども及びその保護者等に対する相談及び支援を行う体制を整備する」という提言がある。また、同報告の「盲・聾・養護学校、特殊学級及び通級による指導の今後の在り方について」では「盲・聾・養護学校は、その専門性や障害に対応した施設・設備を生かして、早期からの教育相談を実施したり、幼稚園等の障害のある幼児を指導するなど、地域の特殊教育に関する相談センターとしての役割を果たすこと」と提言されている。これらの提言内容を考えると、障害のあるひとりの人間の一生が、一貫した相談支援体制の中で対応されることと、その対応する機関はできるだけ居住地域に密着した場であることが考えられる。

このような状況から、ライフサイクルに応じて一貫性のある相談支援体制を構築する上で、特殊教育センター、養護学校、特殊学級などが地域でどのように機能していくことができるのか、そして機関間での連携はどのように行っていくのか、を明らかにしようと考え本研究課題を設定した。

2. 研究の目的

本研究では、ライフサイクルに応じて一貫性のある相談支援体制を構築する上で地域の特殊教育センター等に求められている役割や、ネットワークを構築していく際の配慮を明らかにすることが目的である。「家庭養育から学校教育に至る教育相談活動を中心に」というサブテーマを掲げたように、ライフサイクルの中でも乳児期から小学校への移行期までの子どもたちへの対応に焦点を当て、以下のような事例や資料を収集する。

- ① 養護学校・特殊学級・特殊教育センター等における早期教育相談活動や就学相談に関する事例
- ② 地域相談システムの中で養護学校や特殊学級が関係機関と連携しながら相談を進めている事例
- ③ 養護学校等が幼稚園等に巡回して相談を進めている事例

これらの事例や資料の結果から、機関間の連携の状況や早期教育相談等の対応を明らかにし、地域における養護学校・特殊学級の機能、特殊教育センター等における相談活動、ネットワークの構築や連携の在り方について検討する。

3. 研究期間

研究期間は、平成 13 年度から平成 14 年度である。

4. 研究の経過

<平成 13 年度>

- 1) 平成 12 年度に実施した「障害のある子どもの教育相談に関する実態調査（1 次調査）」の結果を集計・分析し、全国の特殊教育センター等の機関がどのように相談を行い、連携を取っているのかの実態を明らかにした。これらの結果に関しては、日本特殊教育学会に発表した。
- 2) 研究協議会を開催し、「障害のある子どもの教育相談に関する実態調査」の結果を踏まえた意見交換及び、研究協力者が実践している地域との連携の在り方について協議した。
- 3) 平成 12 年度に実施した「障害のある子どもの教育相談に関する実態調査（2 次調査）」の結果をさらに詳細に検討し、連携に関する論考を本研究所教育相談年報に発表した。

<平成 14 年度>

- 1) 平成 12 年度に実施した「障害のある子どもの教育相談に関する実態調査（1 次調査）」の結果を自治体の人口規模別に群化して分析し、より詳細な相談の実態とその特徴について検討し、日本特殊教育学会に発表した。
- 2) 研究協議会を開催し、研究協力者が実践している乳幼児の教育相談と地域連携システムの実状について情報交換し、地域における連携のあり方、特殊教育センター等に期待されている役割等について協議した。
- 3) 研究の最終年度にあたり、報告書（本報告書）を作成し、関係機関に配布する予定。

[本研究に関連した文献]（本報告書掲載分を除く）

- ・植木田潤・伊藤由美・大柴文枝：障害のある子どもの相談・支援に関する調査研究（その 1）。日本特殊教育学会第 39 回大会発表論文集。
- ・伊藤由美・植木田潤・大柴文枝：障害のある子どもの相談・支援に関する調査研究（その 2）。日本特殊教育学会第 39 回大会発表論文集。
- ・大柴文枝・植木田潤・伊藤由美：障害のある子どもの相談・支援に関する調査研究（その 3）。日本特殊教育学会第 39 回大会発表論文集。
- ・伊藤由美：障害のある子どもの支援における連携について考える。国立特殊教育総合研究所教育相談年報第 23 号。
- ・大柴文枝・植木田潤・伊藤由美・後上鐵夫：障害のある子どもの相談・支援に関する調査研究（その 4）。日本特殊教育学会第 40 回大会発表論文集。
- ・植木田潤・大柴文枝・伊藤由美・後上鐵夫：障害のある子どもの相談・支援に関する調査研究（その 5）。日本特殊教育学会第 40 回大会発表論文集。